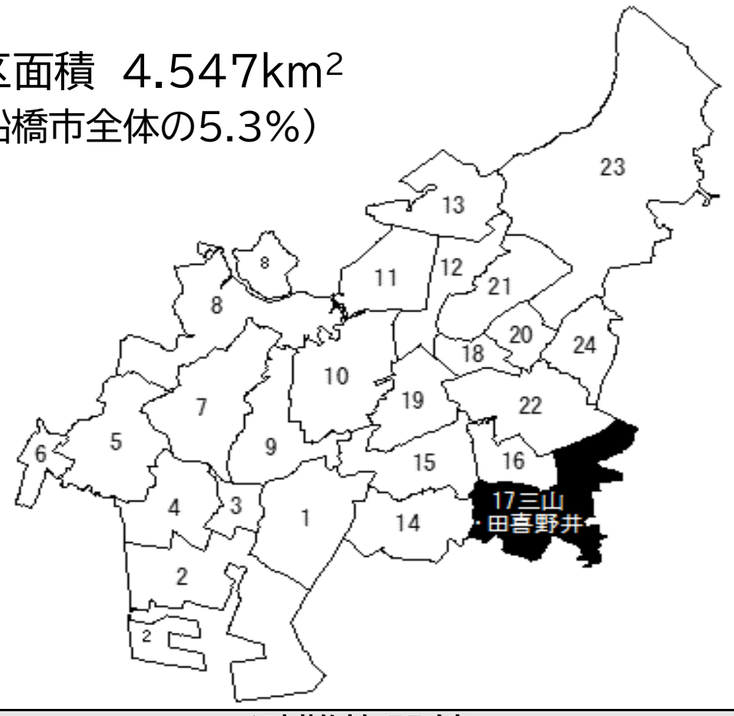
# 船橋市地区別防災カルテ

平成29･30年度作成
令和6年11月修正

# 17. 三山･田喜野井地区

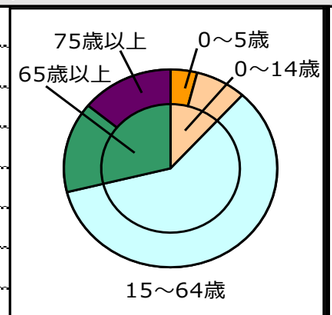
| 地区の構成 | 地区の概要 | |
|---|---|---|
| 三山1～9丁目 | 位置 | 市の南東部に位置し、南は習志野市、北東は八千代市に隣接する。 |
| 田喜野井1～7丁目<br>習志野1～5丁目 | 地形 | 大部分が下総台地で、南東部と西部の三田川、田喜野井川など沿いに谷底低地およびその盛土地が細長く分布し、境界に浸食崖による急傾斜地が存在する。 |
| | 土地利用 | 本地区は昭和40年頃から開発が進み、地形によらずほぼ地区全体に市街地が形成されている。北東部には八千代市にまたがる広大な陸上自衛隊の演習場が広がり、東部には工業団地が立地する。また、宅地化されていない土地が台地上に一部残されており、畑として利用されている。 |
| | 交通 | 鉄道はなく、幹線道路として主要地方道千葉鎌ケ谷松戸線が地区東部を縦断する。 |

地区面積　4.547km²
（船橋市全体の5.3%）

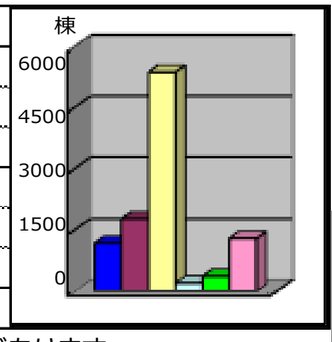



## 社会条件(H29･30年度資料作成時点)

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 人口等 | 0～14歳 | 4,156 | 人 | 11.7% | （対地区） |
| | （内0～5歳） | 1,426 | 人 | 4.0% | （対地区） |
| | 15～64歳 | 21,029 | 人 | 59.4% | （対地区） |
| | 65歳以上 | 10,219 | 人 | 28.9% | （対地区） |
| | （内75歳以上） | 4,973 | 人 | 14.0% | （対地区） |
| | 人口(合計) | 35,404 | 人 | 5.6% | （対全市） |
| | 人口密度 | 7,786 | 人/km² | | |
| | 世帯数 | 16,198 | 世帯 | 5.4% | （対全市） |




| 建物棟数 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 木造 | 昭和45年以前 | 1,185 | 棟 | 11.6% | （対地区） |
| | 昭和46～55年 | 1,778 | 棟 | 17.4% | （対地区） |
| | 昭和56年以後 | 5,361 | 棟 | 52.6% | （対地区） |
| 非木造 | 昭和46年以前 | 205 | 棟 | 2.0% | （対地区） |
| | 昭和47～56年 | 367 | 棟 | 3.6% | （対地区） |
| | 昭和57年以後 | 1,300 | 棟 | 12.8% | （対地区） |
| 建物(合計) | | 10,196 | 棟 | 7.3% | （対全市） |




※建物棟数は小数点以下を四捨五入しており、表の合計値と合致しない場合があります。

## 避難施設等

**一時避難場所･広域避難場所**

一時：田喜野井小学校, 三田中学校, 三山中学校, 三山東小学校, 三山小学校, 東邦大学, 日本大学生産工学部

広域：陸上自衛隊習志野演習場

**津波一時避難施設**

**宿泊可能避難所**

田喜野井小学校, 三田中学校, 三山中学校, 三山東小学校, 三山小学校, 東邦大学, 三田公民館, 三山市民センター

**福祉避難所**

三田公民館, 三山市民センター

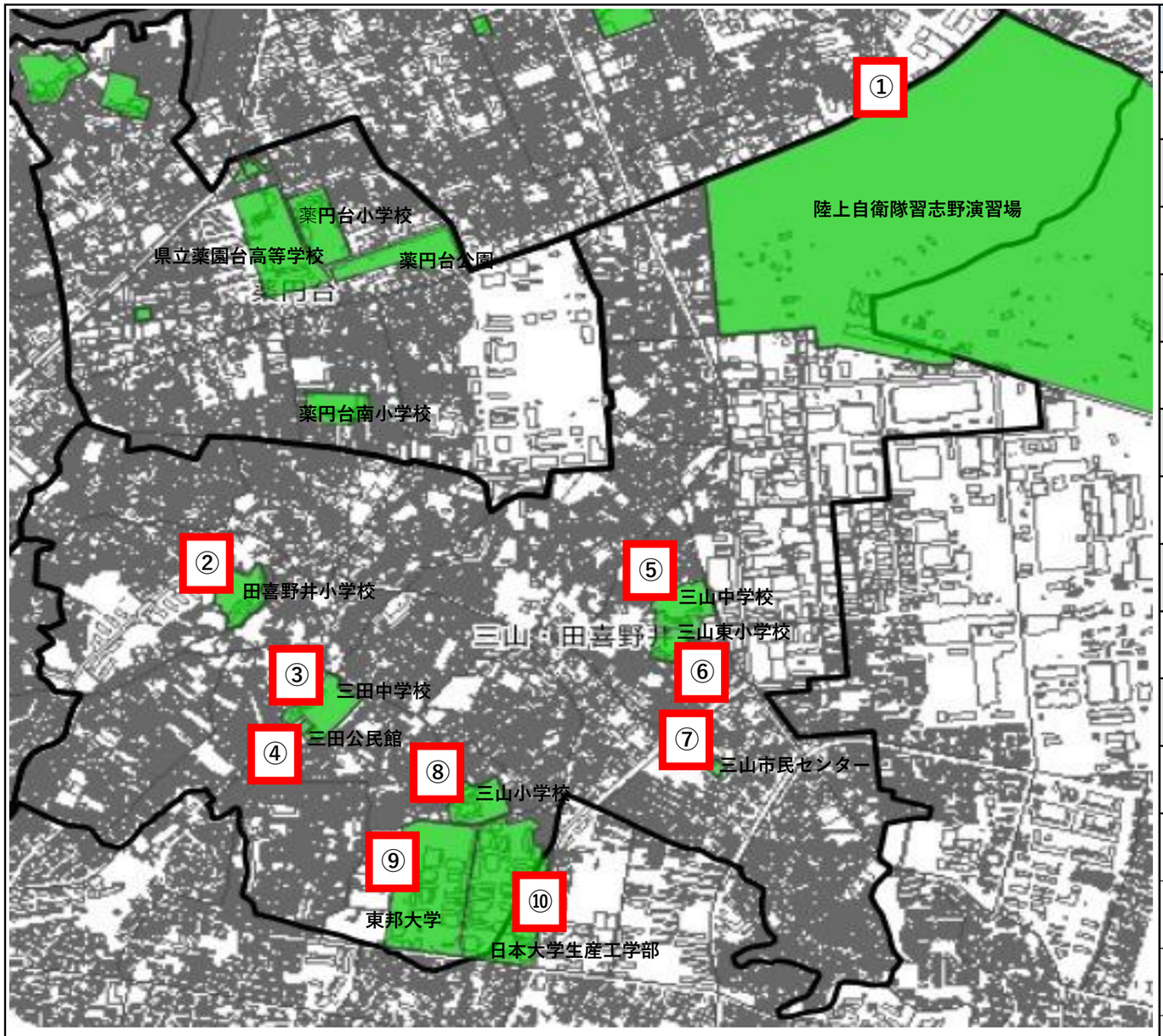
**災害医療協力病院･病院前救護所**

## 災害予測の結果(概要)

| | 項目 | 主な予測結果 | 危険度評価 →高い | 概要 |
|---|---|---|---|---|
| 千葉県北西部直下地震の場合 | 地震の揺れの強さ | 平均震度6強 | | とても強い揺れが予測されている。 |
| | 液状化の危険性 | 一部を除き危険性は低い | | 河川沿いで液状化の危険性が高い。 |
| | 建物被害 | 全半壊率32% | | 強い揺れの範囲を中心に建物被害が予測されている。 |
| | 延焼(冬18時) | 建物焼失割合4.8% | | 地区の南部で延焼の可能性が予測されている。 |
| | 人的被害(冬18時) | 死傷者予測数529人 | | 主に建物被害による負傷者が予測されている。 |

# 避難所・避難場所等分布図　17．三山・田喜野地区

東部　地域　　地区名：三山・田喜野　　地区番号：17



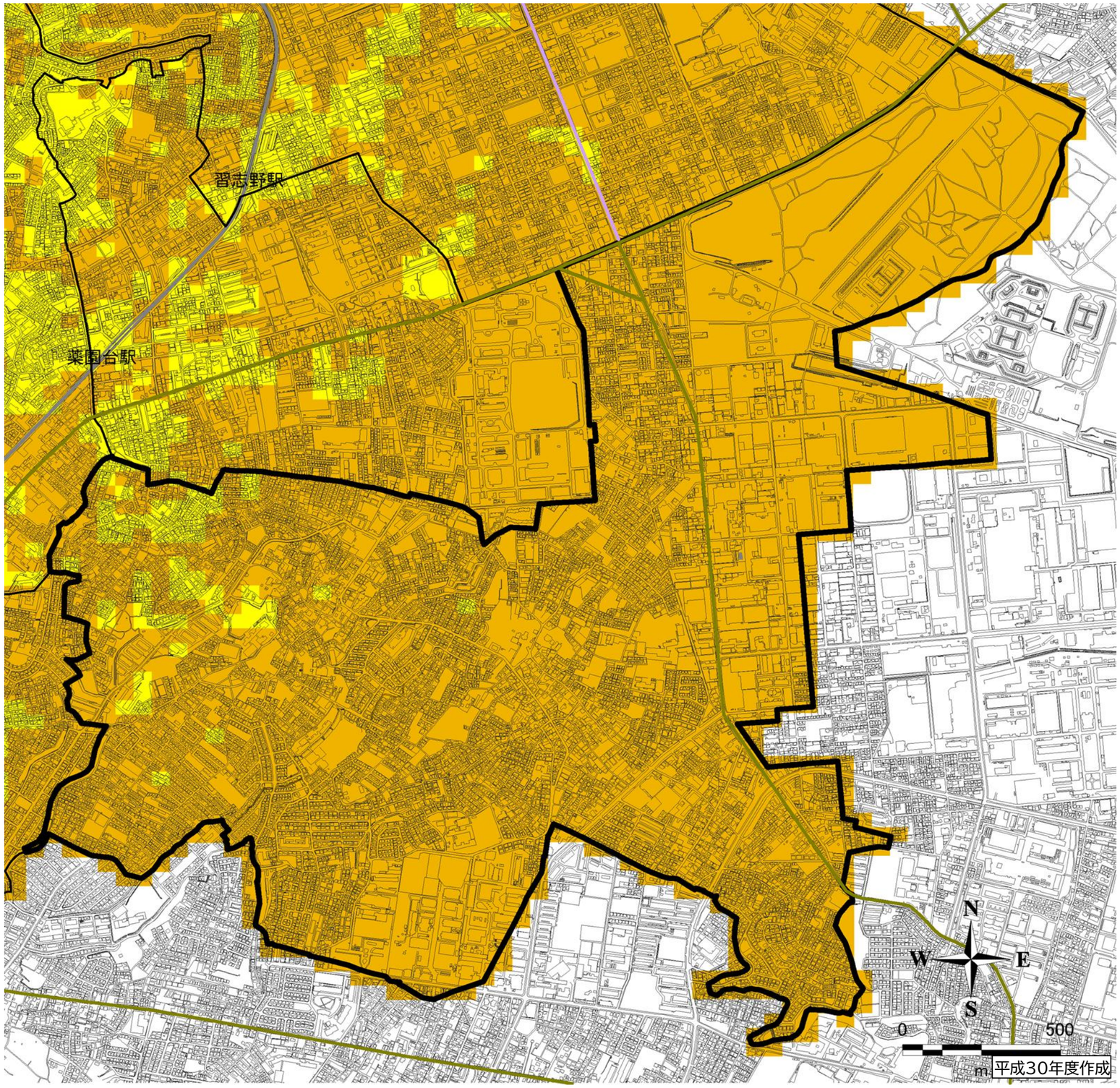

令和6年度作成

| 施設名 | 所在地 | 避難所種別 | 災害種別 洪水 | 高潮 | 土砂 | 地震 | 津波 | 火災 | 火山 | 屋外収容人数 | 屋内収容人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①陸上自衛隊習志野演習場 | 習志野3-1 | 一時 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 482,883人 | - |
| ②田喜野井小学校 | 田喜野井4-33-1 | 一時 宿泊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4,674人 | 701人 |
| ③三田中学校 | 田喜野井2-24-1 | 一時 宿泊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 5,156人 | 977人 |
| ④三田公民館 | 田喜野井2-24-2 | 宿泊 福祉 | - | - | - | - | - | - | - | - | 99人 |
| ⑤三山中学校 | 三山6-26-1 | 一時 宿泊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 5,204人 | 897人 |
| ⑥三山東小学校 | 三山6-32-1 | 一時 宿泊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2,788 | 679人 |
| ⑦三山市民センター | 三山8-19-1 | 宿泊 福祉 | - | - | - | - | - | - | - | - | 197人 |
| ⑧三山小学校 | 三山2-42-1 | 一時 宿泊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4,576人 | 916人 |
| ⑨東邦大学 | 三山2-2-1 | 一時 宿泊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 9,891人 | 193人 |
| ⑩日本大学生産工学部 | 習志野市泉町1-2-1 | 一時 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 7,383人 | - |
| | | | | | | | | | | | |

| | | |
|---|---|---|
| 一時 | 一時避難場所 | 一時的に避難するための場所で、学校の校庭や公園など屋外のオープンスペースです。 |
| 広域 | 広域避難場所 | 火災の延焼の危険性があるとき、一時的に避難する場所で、安全確保のため一定の広さを有する屋外のオープンスペースです。 |
| 宿泊 | 宿泊可能避難所 | 自宅で生活ができない被災者への宿泊や食料などを提供する屋内の仮宿泊施設で、主に学校の体育館などを受け入れ場所とします。 |
| 福祉 | 福祉避難所 | 高齢者や障害者など、災害時の避難生活に支援を必要とする方を受け入れる屋内施設です。なお、福祉避難所は必要がある場合、開設されます。 |
| 災害医療協力病院 病院前救護所 | | 負傷し、自身での手当てが難しい場合は、病院前救護所で治療を受けることができます。緊急を要する状態の場合は救急車を要請してください。 |
| 津波一時 | 津波一時避難施設 | 津波警報が発表されたとき、海から遠い高台まで避難する時間がないときなどの緊急時に身の安全を確保する施設で、浸水が解消し、地上を安全に歩行できるまでの間、緊急避難を受け入れます。 |
| 帰 | 帰宅困難者支援施設 | 帰宅困難者へ水やトイレ、休憩場所、情報提供などを行う施設です。 |

# 地震危険性分布図(想定震度)　17. 三山・田喜野井地区

東部　地域　　地区名: 三山・田喜野井　　地区番号: 17




## 凡例

想定される地震動の強さ
－千葉県北西部直下地震のケース－

- 6強
- 6弱
- 市域外
- 緊急輸送道路(県指定)
- 緊急輸送道路(市指定)

## 地震の様相　参考:気象庁震度階級関連解説表

**6強**
- 這わないと動くことができません。飛ばされることもあります。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなります。
- 耐震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れる物が多くなります。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山体の崩壊が生じることがあります。

**6弱**
- 立っていることが困難になります。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもあります。
- ドアが開かなくなることがあります。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損したり、落下したりすることがあります。
- 耐震性の低い木造建築物では、瓦の落下・傾き・倒壊が生じます。

## 地震被害想定結果

千葉県北西部直下地震のケース

●原因別建物被害想定

| 原因 | 全壊棟数(棟) | | 半壊棟数(棟) | |
|---|---|---|---|---|
| | 木造 | 非木造 | 木造 | 非木造 |
| 地震動(揺れ) | 1,251 | 113 | 1,677 | 216 |
| 地盤の液状化 | 1 | 0 | 3 | 0 |
| 合計 | 1,252 | 113 | 1,680 | 217 |
| 急傾斜地崩落 | 0 | | 0 | |
| 総計 | 1,365 | | 1,896 | |
| 割合(対地区) | 13.4% | | 18.6% | |
| 市の合計 | 11,448 | | 20,770 | |
| 割合(対市被害) | 11.9% | | 9.1% | |

●ケース別火災被害想定

| | 冬5時 | 冬18時 | 夏12時 |
|---|---|---|---|
| 焼失棟数(棟) | 105 | 487 | 117 |
| 市の合計(棟) | 1,300 | 5,862 | 1,365 |
| 割合(対市被害) | 8.1% | 8.3% | 8.6% |

●冬18時(風速8m/s)のケースでの人的被害想定
(冬18時の地区内の滞留人口　　人)

| 原因 | 死者(人) | 重傷者(人) | 負傷者(人) |
|---|---|---|---|
| 建物被害 | 66 | 87 | 323 |
| 火災(延焼拡大) | 17 | 9 | 23 |
| 急傾斜地崩落 | 0 | 0 | 0 |
| ブロック塀等 | 0 | 1 | 3 |
| 合計 | 84 | 97 | 348 |
| 市の合計 | 789 | 847 | 3,569 |
| 割合(対市被害) | 10.6% | 11.4% | 9.8% |

●自力脱出困難者数と避難所避難者数※

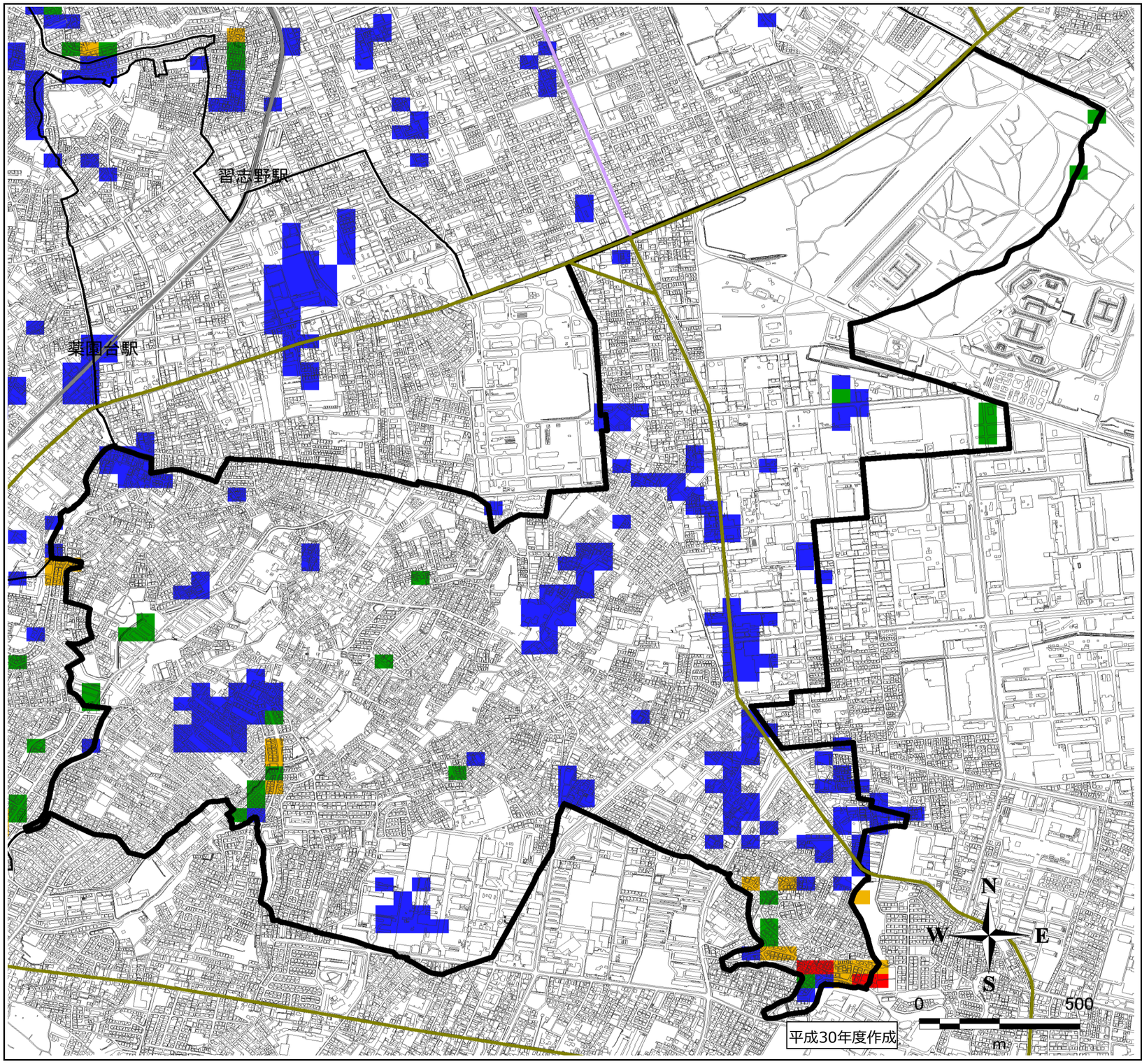
| | 自力脱出困難者数(冬5時) | 避難所避難者数(冬18時) |
|---|---|---|
| 地区合計 | 422 | 9,327 |
| 市の合計 | 4,907 | 105,544 |
| 割合 | 8.59% | 8.84% |

注:建物・人的被害の数値は小数点以下を四捨五入しており、表の合計値と合致しない場合があります。

※ 避難所避難者数は、最大となる被災3日後に、市の宿泊可能避難所に避難する人の数を想定しています。

# 地震危険性分布図(液状化)　17. 三山・田喜野井地区

東部　地域　　地区名：三山・田喜野井　　地区番号：17



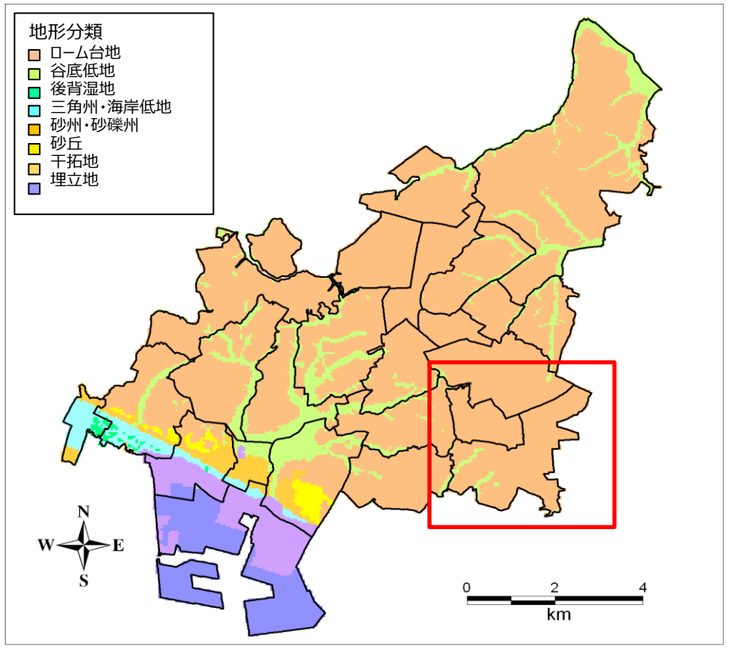

## 凡 例

想定される液状化の危険性
－千葉県北西部直下地震のケース－

- 極めて高い
- 高い
- やや高い
- 低い
- なし・市域外

- 緊急輸送道路(県指定)
- 緊急輸送道路(市指定)

## 地形分類図

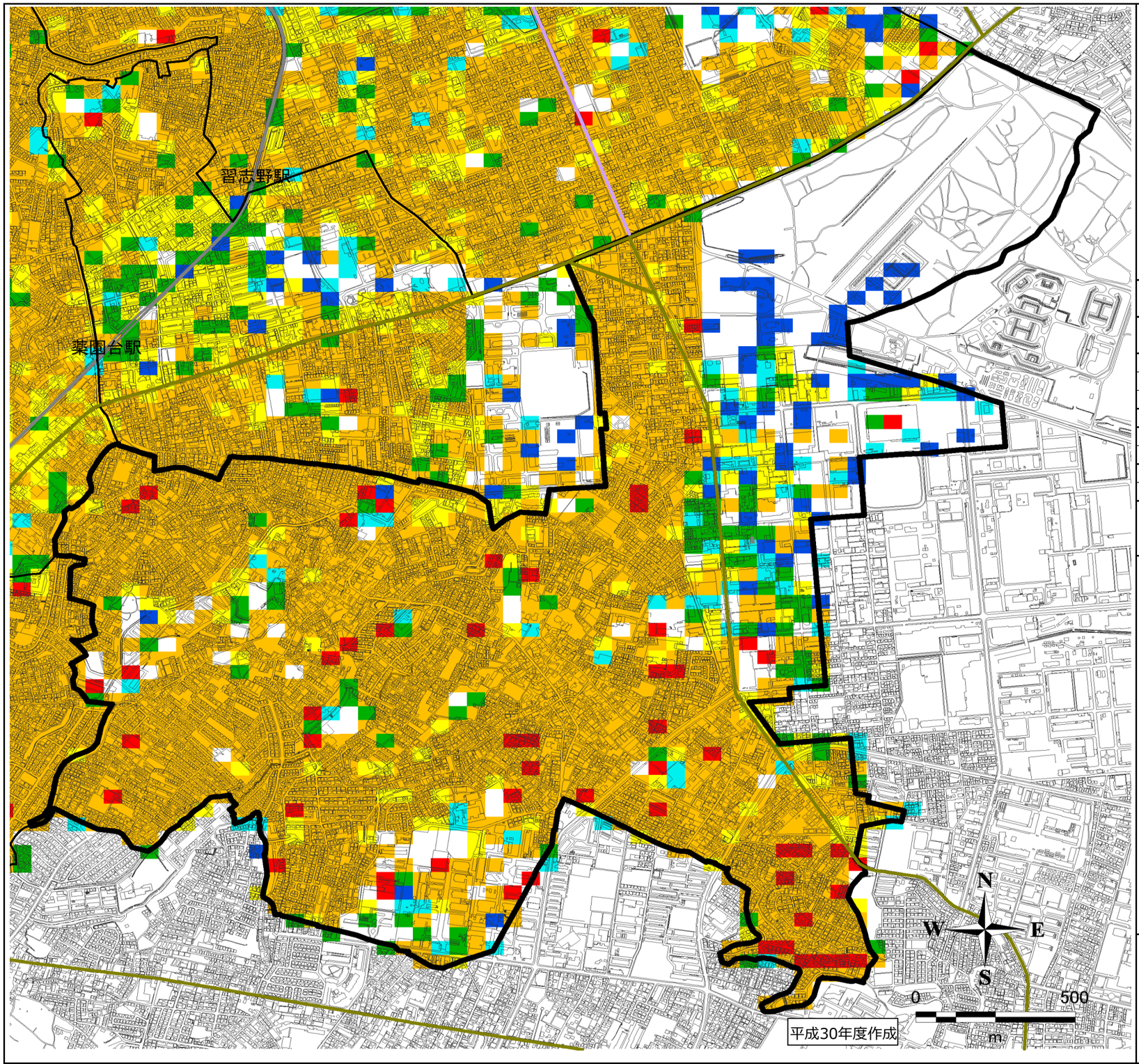



※平成22年度「船橋市防災アセスメント調査及び地区別防災カルテ作成業務報告書」より抜粋

メモ欄（気づいたことをメモしましょう）

# 地震危険性分布図(建物被害)　17. 三山・田喜野井地区

東部　地域　　地区名：三山・田喜野井　　地区番号：17




## 凡 例

想定される建物被害(半壊以上)
－千葉県北西部直下地震のケース－

全半壊棟数(棟)
- 5 － 10
- 1 － 5
- 0.5 － 1
- 0.25 － 0.5
- 0.1 － 0.25
- 0 － 0.1
- なし・市域外

緊急輸送道路(県指定)
緊急輸送道路(市指定)

●原因別建物被害想定

| 原因 | 全壊棟数(棟) | | 半壊棟数(棟) | |
|---|---|---|---|---|
| | 木造 | 非木造 | 木造 | 非木造 |
| 地震動(揺れ) | 1,251 | 113 | 1,677 | 216 |
| 地盤の液状化 | 1 | 0 | 3 | 0 |
| 合計 | 1,252 | 113 | 1,680 | 217 |
| 急傾斜地崩落 | | 0 | | 0 |
| 総計 | | 1,365 | | 1,896 |
| 割合(対地区) | | 13.4% | | 18.6% |
| 市の合計 | | 11,448 | | 20,770 |
| 割合(対市被害) | | 11.9% | | 9.1% |

注:建物・人的被害の数値は小数点以下を四捨五入しており、表の合計値と合致しない場合があります。

●地震への対策

被害想定の数字を公表する目的は、被害の数を知ってもらうことではありません。その被害の中に、皆さん自身や家族が巻き込まれてしまわないように、一人ひとりが努力するきっかけとなることを目的としています。
地震の強さそのものを弱めることはできませんが、強い家へ建て替えたり、家具の固定を進めたりすることで、被害量を減らすことが出来ます。

皆さんの地震対策について、以下の事柄が当てはまるかどうか、チェックしてみましょう。
【住宅の耐震性】(昭和56年6月より前に建てられた家に住んでいる方)
☐ 家の耐震診断を受けた。
☐ 家の耐震改修をした。
【家具の固定など】
☐ 家具は倒れないように固定されている。
☐ 家具の上に危険な物を置かないようにしている。
☐ 寝る場所の近くには、倒れてきそうな家具は無い。
☐ 万が一、家具が倒れても、部屋の出口はふさがれない。
☐ 家具の固定器具や粘着性マットの点検を定期的に行っている。
☐ 感震ブレーカーを設置している。

メモ欄(気づいたことをメモしましょう)

# 洪水・内水・土砂災害危険性分布図　17. 三山・田喜野地区

東部　地域　　地区名:　三山・田喜野　　地区番号:　17

この図の浸水想定区域は、船橋市ハザードマップの「すべての河川と内水を併せた最大浸水深(想定最大規模)」を表示しています。前提となる条件等は、右下のコードから、船橋市ハザードマップを参照してください。

**～事前の心構え～**

**・家の周りを点検・整備しましょう**
家のまわりの排水溝が詰まっていないか確認し、掃除しておきましょう。また、家の周囲に風で吹き飛ばされそうな物があるか、雨戸や雨どいが傷んでいないか確認しておきましょう。

**・避難所や避難経路を確認しておきましょう**
身近な避難所の位置を確認し、危険な箇所を避け、安全に避難するためには、どう行けばいいのかを家族で確認しておきましょう。マイタイムラインを作成することも有効です。

**・隣近所へ呼びかけましょう**
避難する際には隣近所に声をかけあい、地域で逃げ遅れる人がいないようにしましょう。

**・非常持出品を用意しておきましょう**
避難に必要なものを事前に準備し、迅速に避難できるようにしましょう。

**～避難の心得～**

・テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意し、危険を感じたり、移動に時間がかかる場合は、早めの避難をすることが重要です。

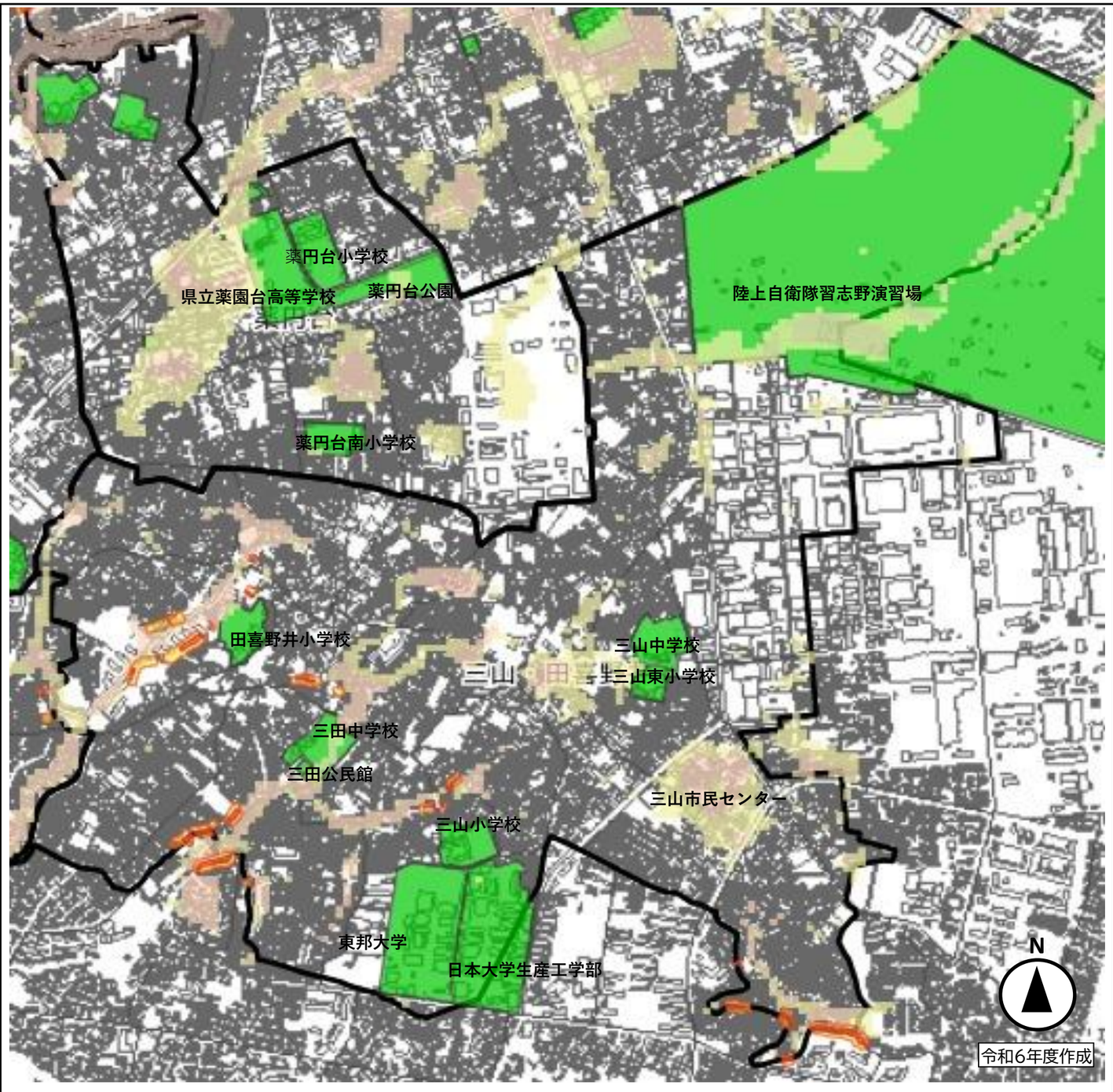
・避難をする時は、動きやすい服装で、2人以上での避難を心がけましょう。

・避難の際は、できるだけ高い場所の道路を選び、浸水箇所があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。また、崖地等では土砂災害に注意しましょう。

・車での避難は避けましょう。緊急車両の通行の妨げになるだけでなく、交通渋滞をまねくことや、アンダーパス等で浸水すると車内に閉じ込められることがあります。

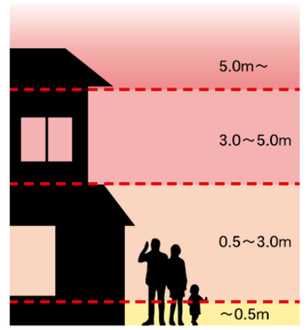
・想定される浸水深が浅い場合には、自宅や近くの堅牢な建物の2階以上に避難することも有効です。

・既に浸水が生じており、避難所への移動が困難な場合には、近くの頑丈な建物の2階以上に避難するか、家の中でより安全な場所(崖から離れた部屋や2階以上)に避難しましょう。




## 凡例

浸水した場合に想定される水深




| 土砂災害（特別）警戒区域 | |
|---|---|
| | 土砂災害警戒区域 |
| | 土砂災害特別警戒区域 |
| 家屋倒壊等氾濫想定区域 | |
| | 氾濫流 |
| | 河岸浸食 |
| | アンダーパス |

河川ごとの浸水想定区域や、「想定し得る最大規模の降雨」の前提条件等は、下記のコードの「船橋市ハザードマップ」より確認できます。

船橋市ハザードマップ